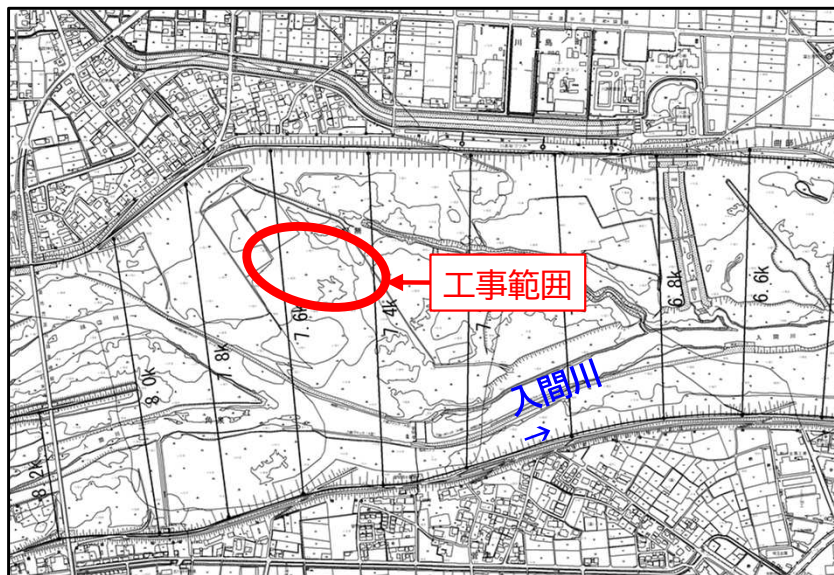


斜め写真

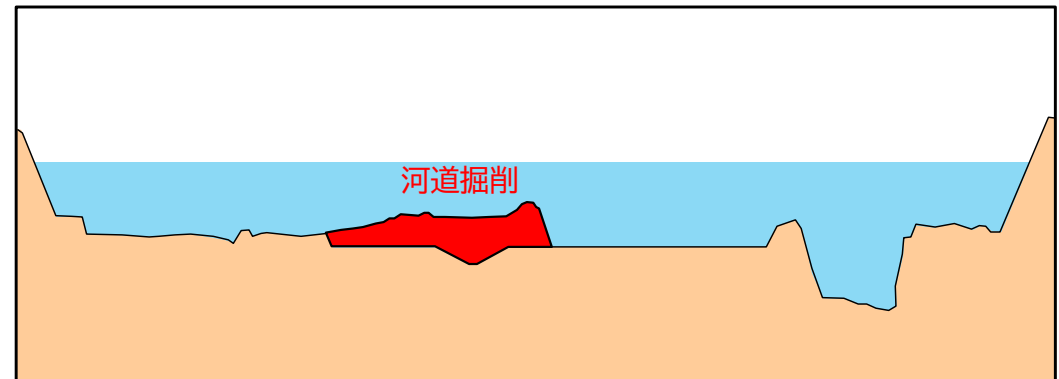


○着 手:令和4年6月
○完了予定:令和5年2月末

平面図



標準断面図



凡 例
[Red box] 工事範囲

工事の目的

流下能力向上を目的に、河道掘削を実施します。



写真① 釘無橋から下流方向

「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより

主な環境情報

- ・調査範囲内は、令和2年から河道掘削を実施しており、主に裸地、草地などで構成されています。
- ・調査範囲周辺の樹林地では、重要種(鳥類)が確認されています。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施します。
- ・地盤を切り下げることで、冠水頻度が上がり、多様な動植物が生息する場となることを期待しています。
- ・重要種(鳥類)については、仮設工事による影響が生じないように情報を共有し、対応を検討します。